

## 中部工場見学会のお知らせ

生産・検査・物流を徹底的に自動化し、人に頼らない最先端工場の見学を通して、当社の生産技術力をご理解いただけます。

### 開催概要

見学場所：中部工場(岐阜県海津市)

集合・解散：名古屋駅(詳細な場所は当選をお知らせする通知をご覧ください。)

※お車等での直接のご来場はご遠慮ください。

開催日程：11月21日(金)PM(予定)

内容：概要説明の後、徒歩にて構内を移動し、施設内をご見学いただきます。

対象者：2025年3月末時点で、当社株式300株以上をご所有の株主様

募集人数：25~30名

参加費：無料(ただし、集合・解散場所までの交通費や宿泊費等は各自ご負担ください。)



### 応募要領

応募方法：同封の「株主様アンケート」に記載の「工場見学会へ出席をご希望される株主様」の欄に必要事項をご記入の上、ご返送ください。

応募締切：2025年7月31日消印有効

当選発表：応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。当見学にお越しいただくことが確定した株主様へは、9月ごろに別途詳細をご案内申し上げます。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会実施のほか議決権行使に関するご案内や、株主様向けの活動充実のために使用させていただく場合がございます。

### お問い合わせ先

株式会社ジーテクト 工場見学会係  
電話番号 048-646-3404  
9:00~17:00(土、日、当社休日を除く)

## 前回の工場見学会のご報告

2025年3月17日(月)、研究開発拠点のある羽村地区にて工場見学会を行いました。ホットスタンプの生産ラインや、モーターコア・バッテリーハウジングの実証ラインをご覧いただいたほか、社長による経営戦略のプレゼンテーション、担当役員による開発力・人財育成に関するご説明、質疑応答を行いました。質疑応答では、株主様から多くのご質問を頂き、出席者全員よりお答えしました。

### 参加された皆様の声(抜粋)

- ▶実証ラインでの製造工程を実際に見せていただけたのが非常に興味深かったです。
- ▶電気自動車に向けての技術開発が印象的でした。
- ▶自社で研究開発した技術を自動車メーカーに売り込んでいく力強さを感じられ、頼もしく感じました。

他多数

ご参加誠にありがとうございました。



実証ライン見学

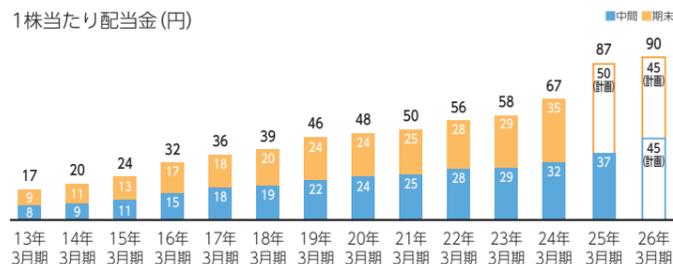


質疑応答

## 株主還元

2025年3月期は、中間配当金1株当たり37円、期末配当金1株当たり50円とし、年間では、前期比20円増配の1株当たり87円といたしました。

2026年3月期は、中間・期末配当金を1株当たり45円とし、通期で90円を予定しております。



※2014年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を実施しているため、2013年度以前の1株当たり配当金は株式分割考慮後の数値を記載しています。

最新の情報はジーテクトHPをご覧ください。



## 会社概要(2025年3月31日現在)

社名	株式会社ジーテクト
創業	1947年4月1日
設立	1953年11月4日
資本金	4,656,227,715円
代表取締役社長	高尾 直宏
事業内容	車体部品、トランスミッション部品の製造販売、金型・溶接設備等の製作販売

拠点	国内11拠点、アメリカ5拠点、カナダ1拠点、メキシコ2拠点、ブラジル1拠点、イギリス4拠点、ドイツ1拠点、スロバキア1拠点、中国5拠点、インド1拠点、タイ3拠点、インドネシア1拠点
----	--

## 株式会社ジーテクト

本社  
〒330-0854  
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-20



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



## 第14期 株主通信

2024年4月1日~2025年3月31日

株式会社ジーテクト

# Shape the Future

証券コード：5970

## ジーテクトを支える競争力を強化し クルマの システムサプライヤー (Tier 0.5)への進化を目指す

開発力  
技術力  
財務力  
グローバル力  
推進力

詳しくは中面にて

# 「クルマのシステムサプライヤー (Tier 0.5)」への進化

ジーテクトは、軽量で高剛性な骨格部品やトランスミッション部品を提案する「車体部品サプライヤー」として、世界の自動車OEMの皆様から認められています。これまでに蓄積してきた車一台解析技術や一体化成形技術をさらに発展させて、「車体部品サプライヤー」から、車体一台にとどまらない領域の開発を担う「クルマのシステムサプライヤー (Tier 0.5)」へ進化していこうとしています。

自動車市場は現在、電動化の大変革期を迎えています。当社は電動車のさらなるシェア拡大を見据えて、新たな製品開発、技術開発に取り組んでいます。

## 2024年度 実績

売上高	3,392億円
営業利益	164億円
DOE	2.39%

- システムサプライヤー 移行期間
- 車体一台開発能力構築
- ネットワークの拡大・深化

## 2030年度 目標

売上高	4,000億円
営業利益	280億円
DOE	3.0%

- クルマのシステムサプライヤー Tier 0.5
- クルマのシステム開発受注
- 受注機種/OEM拡大

## 開発力

開発力の基礎となっているのは、「車一台解析技術」です。当社独自のノウハウにより、実物の衝突試験と同等の精度で車一台分の衝突解析を行うことが可能です。この解析技術によって、より高度な開発提案を行っています。

例えば、車体を構成するコンポーネントをアルミで一体加工することで部品数削減に寄与するギガキャストに対して、従来の生産設備を活用しながら部品数を削減できる大型一体化(モジュール化)を世界の自動車OEMに提案中です。

## クルマのシステムサプライヤー (Tier 0.5) を目指す



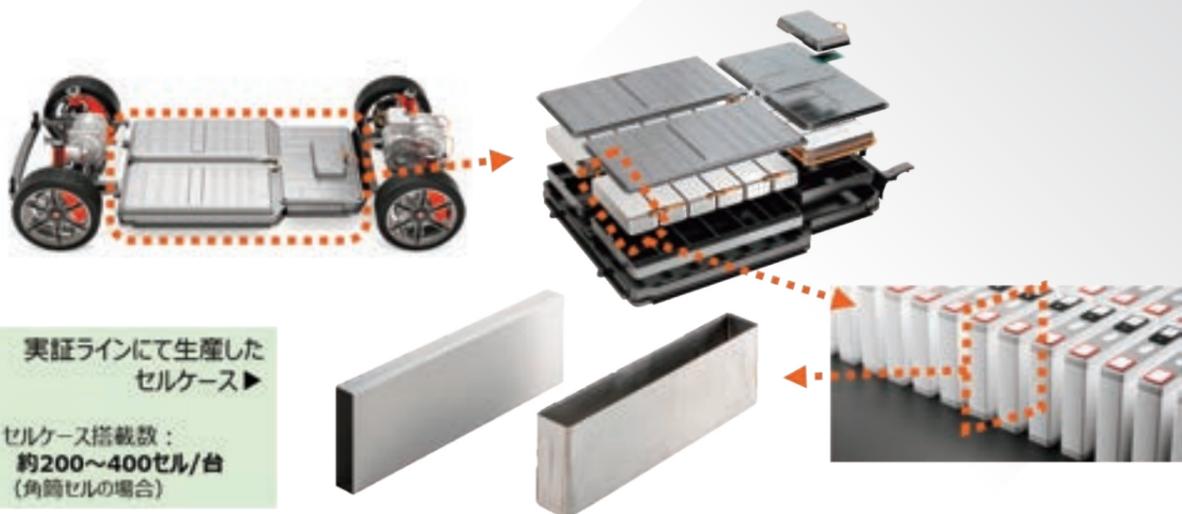
クルマ全体を対象に  
技術が活かせる製品を見極め  
(例:AD/ADAS)

## 開発領域の拡大

## 技術力

自動車OEMのパートナーとして培った車体加工技術を活かし、電動車に関連する製品領域に展開しています。

その一つであるセルケースは、バッテリーの電極や電解質が入る金属製の箱状部品です。セルケースは、BEV(バッテリー電気自動車)はもちろんのこと、HEV(ハイブリッド車)を含む全ての電動車に搭載することができます。当社は今後ますます拡大する電動車ニーズを着実に取り込み、事業拡大を狙います。



実証ラインにて生産した  
セルケース▶

セルケース搭載数:  
約200~400セル/台  
(角筒セルの場合)

## 推進力

ジーテクトを未来に導く原動力は、人財の力です。推進力をさらに高めるために、現場での実践に加え、体系的な人財育成の仕組みを構築しています。

例えば、職種ごとの専門スキル習得や、階層別のマネジメントスキル向上を支援する体制により、従業員一人ひとりの力が組織を活性化させる環境を整えています。

## グローバル力

世界12カ国に30工場4R&Dを展開し、グローバル各地域のニーズに迅速に対応する連携体制を構築しています。

2024年度に竣工した「中部工場」「南沙工場」は、先ごろ生産を本格スタートさせた最先端工場です。AGF(無人フォークリフト)などを導入し、構内物流を無人化しました。

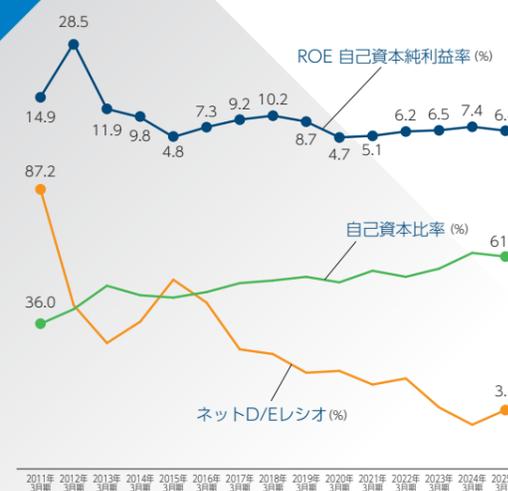
将来的には、自動化によって得られたビッグデータをAIによって分析し、生産効率の改善につなげるなど、工場自体が知能を持った「究極のスマートファクトリー」のグローバル展開を目指します。



南沙工場(中国広東省)

中部工場(岐阜県海津市)

## 財務力



※上記数値は億円未満を四捨五入して表示しています。

盤石な財務力によって、利益成長をもたらす投資と安定的な株主還元を実現し、企業価値を向上させてまいります。健全な財務体質を維持しながら、自己資本に対する収益性の向上を目指し、売上と利益の持続的な拡大に取り組みます。財務健全性の面では自己資本比率は50%以上を維持すると同時に、資本効率の面では自己資本に対する収益率(ROE)10%以上という目標を掲げています。

また、株主還元においては、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目的として安定的・継続的な株主還元を実施し、2031年3月期にDOE3.0%、そして配当性向30%以上を目指します。